

記入例)

水路測量許可申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

第〇〇管区海上保安本部長 殿

住 所：〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

氏名又は名称：〇〇県港湾局長

〇〇 太郎

水路業法第六条の規定により、下記のとおり水路測量の許可を申請します。

記

1 目的 〇〇港〇〇区〇〇埠頭〇号岸壁（-8.5m）の完成に伴う竣工確認

2 区域 〇〇港〇〇区

3 水路測量標の設置の有無 なし

4 事項

灯台その他の物標の標高 可航水域の上空にある橋梁その他の障害物の高さ

干出する岩その他の物及び干出堆の高さ 水深 海岸線 低潮線

浮標の位置 底質 その他（ ）

5 測定又は調査の方法

測位はDGPSを使用し船位を測定する。水深はマルチビーム音響測深機（△△社製、〇〇型）を使用する。最低水面は〇〇による。その他詳細は実施計画書のとおり。

6 期間

平成〇〇年〇〇月〇〇日 ～ 平成〇〇年〇〇月〇〇日（うち〇〇日間の予定）

7 成果の提出

予定期日 平成〇〇年〇〇月〇〇日

形式 〇〇港深淺図（プラスチックシート、縮尺1/10,000）

8 水路測量を計画する機関

名称 〇〇県港湾局

代表者の氏名 港湾局長 〇〇 太郎

所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

9 水路測量作業を行う機関

名称 〇〇〇〇測量株式会社

代表者の氏名 〇〇 花子

所在地 〇〇市〇〇町〇〇番地

水路測量作業従事者

氏名	実務略歴	資格
〇〇 一郎	水路測量30年	水路測量技術検定沿岸一級
〇〇 次郎	水路測量10年	水路測量技術検定沿岸一級
〇〇 三郎	水路測量5年	水路測量技術検定沿岸二級

10 備考（計画機関の担当者名等）

担当者：〇〇県港湾局〇〇部〇〇課 〇〇 花子

TEL：(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇